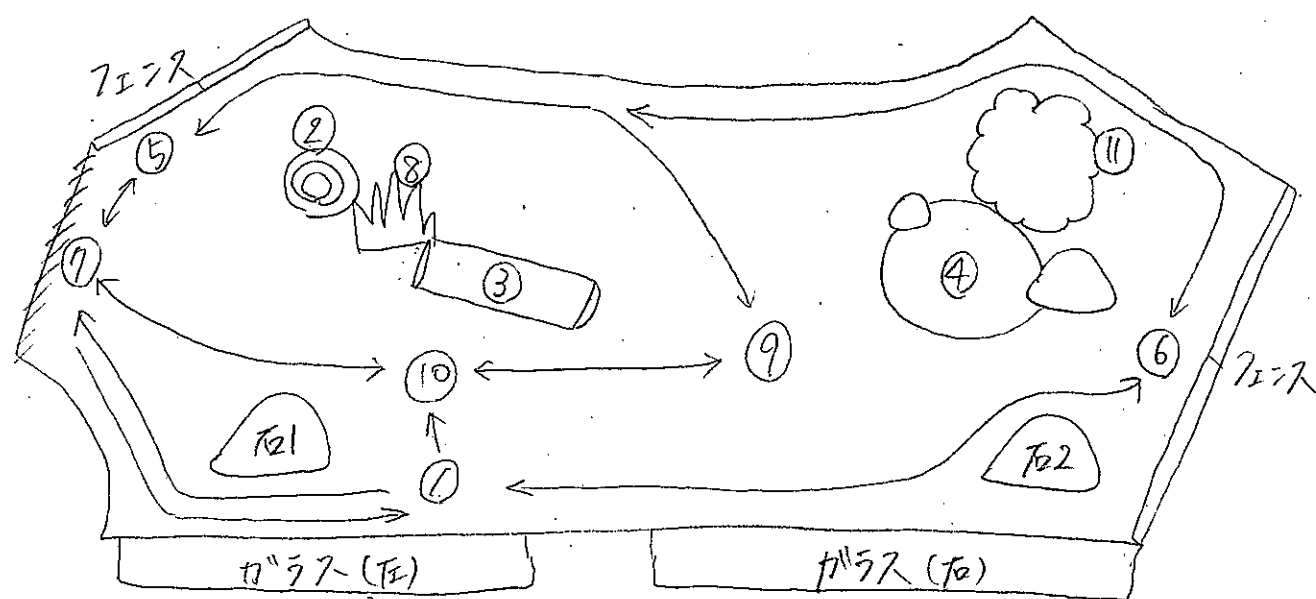


和名: 4-9- 学名: *Acinonyx jubatus*  
 観察時間: 14:40 ~ 15:25 天気: 晴れ  
 個体の名前: ニハク 個体の性別: ♀



飼育場の環境: 地面は湿った土。吹雪取り。コンクリートの壁。

② 高さ1mの丸太 ③ 長さ1.5mの丸太 ④ 池 ⑤ 草 ⑥ 木

時間	位置	ニハクの行動
14:40	①	ガラス浴いを見つめながら往復して歩行する。
14:41	③	①から移動して2回丸太をなめる。直後にあくび。
	①	ガラス浴いを歩行する。
14:42	②	木の下部分の土をなめる。
14:43	①	しっぽを上げて直後にガラス浴いのしっぽをふんで歩行する。
14:44	⑦	頭を振り回る。(1回)
	⑦→⑤	上を見ながら歩行する。
14:45	ガラス右	後ろ足をついて座る(1分間) 身は立つて手。
14:47	⑦	あめにはまっている部分のくにおくをく。
	①	人を見ながら止まる(20秒間)
14:48	⑦	あめを見ながら止まる(1分間)
14:50	①	下の方を見ながら歩行する
14:51	⑧	草においをかぐ
14:53	①	しっぽを上げてながら止まる(1分間) ⑨ ガラス右。

14:54	⑧	草においをかいだ後は顔をツンツン。
	石1	石を1回叩いて、頭をふりまわす。直後にあくび。
	③	止まって(10秒間) 手はたてを3回
14:55	④	池の右で前足をかいて、水を飲む。池をよびえる。④にガラス
	①	池からもとってあくび(1回)
14:56	⑧	草の手かりを歩行する。目線1下。
	⑨	しっぽをあげながら⑩へ向かって歩く。
14:57	⑩	上を見て止まる(10秒間)
14:58	⑩	前足をそろえてガラスの方を見ながら止まる(20秒間)
14:59	⑩→⑧	⑧の方を見ながら止まる。⑧へ歩いて右前足をあげて止まる
15:00	③	丸太をなめる(2回)
15:01	⑤→⑦→①	壁沿いを下向きで歩行する
15:03	⑦→①	②→①のあいだの壁においをかぐ。
15:04	石1	においをかいで、その場で寝ころぶ。顔は吐いて手。フェンスの方を見る。
15:07	⑩	上を見てあくびをする
15:08	⑥	ガラス右とガラス浴いの手はたてしっぽを横にふる。
15:12	③	丸太においをかいたあと、前足をかぐ。
	⑧	草に顔をツンツンしてしっぽをあげる。
15:13	ガラス右	ガラス右と体を寄せてしっぽをあげるあくび(2回) 顔をふる。
15:15	⑧	しっぽを上げて後ろ足を曲げる。うんちをする。直後にあくび。ちを出る。
15:17	⑨	ガラス右とガラス浴いの手はたてしっぽあげてあくび
	①	ガラス浴いに歩行する。
15:21	①	ガラス右とガラス浴いの手はたてしっぽあげる。
15:22	①→⑨	小走りをして池をジャンプ
15:24	⑥	下の方を見ながら止まる(10秒間)
15:25	①→⑩→⑤	壁沿いを歩行する。しっぽは上げたまま

○ ニハクの特徴 ○

顔は骨ばり、ほりか深い。しっぽが細く長い。♀と比べて、黒の点々が小さく色が濃い。前足をかいて歩くと、前足の左に体重がかかり、右の部分が、ほりか強い。毛深い。

和名: レッサ-パンダ 学名: *Ailurus fulgens fulgens*

観察時間: 14:30 ~ 15:15 天気: 晴れ

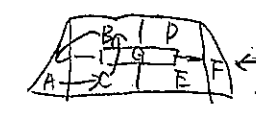
個体の名前: フランケン 個体の性別: オス

時間	場所やフランケンの行動	時間	場所やフランケンの行動
14:30	A 出入口あたりを歩く	14:47	→ A 移動
31	↓		→ B 移動して木の下にもぐり
31	B → D Dにいでて低木のまわりを歩く	48	→ A 移動、左足で石をかき
32	D → G 木に登ってあそぶ	49	→ B 移動
33	G 木のてっぺんまで登る		→ A ササを食べる ③
	木の葉を食べる	50	→ D 移動、足をかく
35	G 木からおりる	51	→ A あしをかき、出入口あたりをうろろ
	→ A 移動	52	→ B 低木の下にもぐり
35	A 地面にひいてあるササを食べる		B Gの木の端でおしっこ
5	↓ ①	53	→ A ↓
41			F ↓
41	A Aの範囲中を移動	54	→ G 木に登る
	→ C Cの範囲内の石の上にあるササを食べる		G ササをかじる
42	→ F Fに移動	55	→ A 木をたどってD側からAに移動
	F Fの中で歩まわす		B → D BからDを往復
43	→ A Aに移動		↓
	A Aの範囲内を歩まわす	56	→ B 木の下にもぐり
44	→ B 移動		→ A 移動
	→ A 移動	57	→ D 移動
	→ C 移動		→ A 移動
44	C 石の上に座りササを食べる ②	58	A 出入口をまんをうろろ
5		59	A 出入口をのぞく
46	→ B Bに移動し低木の下にもぐり		→ D 移動

時間	場所やフランケンの行動	時間	場所やフランケンの行動
15:00	→ B 木の下にもぐり	15:07	A 出入口をのぞく (飼育員さんがササを持って来た)
	→ A 出入口をのぞく	08	→ B 木の下にもぐり
	A 出入口あたりをうろろ		→ A 出入口をのぞく
01	→ B 木の下にもぐり		A 出入口あたりをうろろ
	→ A 移動	09	→ B 木の下にもぐり、座る
	A 出入口をのぞく		→ A 出入口をのぞく
02	→ B 移動、木の下にもぐり	10	" "
	→ A 移動		→ B 木のまわりを観察
	→ G 座る	11	→ D 移動
03	→ C 石の側でササを食べる		→ B 木の下にもぐり、座る
	→ A 地面にひいてあるササを食べる ④		→ A 出入口があいて奥に入る
04	→ B 木の下にもぐり	12	A 少しだけ出てくる
	→ A 移動	13	A 出入口の中でササを食べる
	A 出入口をのぞく	5	↓
05	A "	15	A ↓
	→ B 木の下にもぐり		
	→ A 出入口あたりをうろろ		
06	→ G 移動		
	→ D "		
	→ B 木の下であそぶ		
	→ A 木のまわりを観察		
07	A 出入口あたりをうろろ		

フランケンがササを食べる時の咀嚼回数 (30秒間)

- ① 79回 ② 56回 ③ 55回 ④ 62回



いつもあるいている場所があるのか地面の一部だけ草が生えていて、道はたいては踏まっていた。(A → C → G → B → A)

基本的にフランケンは私たちがから見て左側のA・B・C・Gのエリアに近く居た。D・Eのエリアに行くことは何回かあったがFのエリアまで行くことは45分間のあいだで2回しか見かけなかった。

○ 意外に思ったこと。  
レッサ-パンダはもっと動かない動物だと思っていたが、今回私が観察した45分のあいだでササを食べる時以外じっとしている時間はほとんどなかった。

和名: ボルネオオランウータン	学名: <i>Pongo pygmaeus</i>
観察時間: 14:15 ~ 15:00	天気: 晴
個体の名前: キュウ	個体の性別: オス

上下運動も可能なアスレチックがある

14:15	客の大きな動きを追って顔を向ける。(以下方向が略)
14:16	左
	正面
14:18	右
14:19	左
14:21	寝る体勢になった
14:25	少し観察場所を移動した自分を向く
14:27	いびきのような声で鳴いた
14:30	男の子の起きてという声に反応して顔を上げる 再び寝る体勢に
14:32	長島がカメラを向けたらカメラ目線に いびきのような声で鳴いた

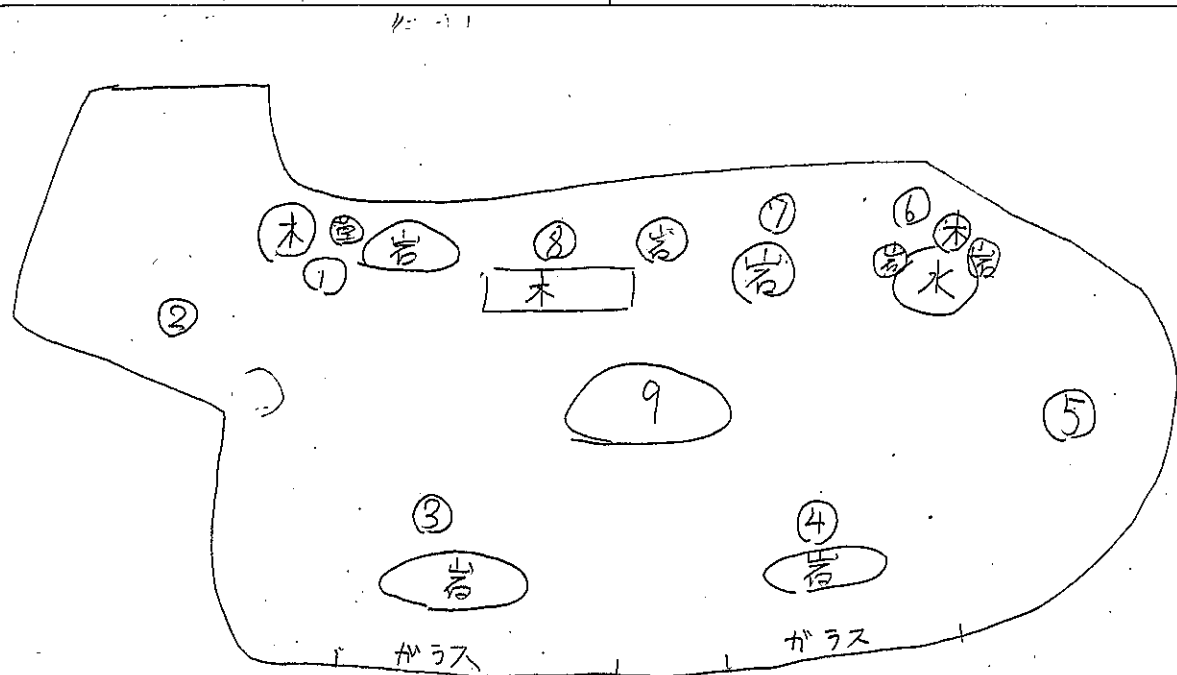
14:33	男性の大きな声に反応して見る向きを変えた
14:35	あくびをした
14:36	客の動いた方向に顔を向ける 長島(男性)の声に反応して顔を向ける
14:37	バスが通過、まばたきの回数が急激に増えた
14:39	女性の声に顔を向ける
14:40	
14:41	
14:42	子供の動きに反応して顔を向ける
14:43	あくびをした後、いびきのような声
14:44	吐き出したつばを飲みこむ 顔を上げ、目をかき目やにを口に入れる 再び元の体勢に戻る
14:45	身そのり出した長島(男性)の方を向く
14:47	バスが通過、まばたきが急激に増えた
14:48	歯をむき出して鳴いた
14:50	女性の通過に顔を向ける × 2
14:55	子連れの方に顔を向ける
14:57	バスが通過、顔を上げた 額をかいてその指をくわえる
14:58	女の子をながめている
14:59	4人組の移動に顔を向ける
15:00	額をかいてその指をくわえる

性別ごとの反応した数(子どもも含む) (かみ内は声)
男: 5 (3)
女: 5 (4)

和名: 4-7- 学名: *Acionyx jubatus*

観察時間: 14:19 ~ 15:04 天気: 晴れ

個体の名前: コハク 個体の性別: メス



日時間	場所	行動
14:19	③ → ④ → ③ をくりかえす	ガラス側からこちらを見つめる。ときどき立ち止まる。
14:21	④ → ⑥ → ④	⑥へ行き 数秒立ち止った。
14:22	④ → ⑥ → ⑦ → ⑧ → ②	止まることなく歩きつづける
14:23	④ → ④ → ⑦	⑦で産卵を壁にこすりつける (3回)
14:25	⑤	立ち止まり ⑤のほうを見る
14:26	①	木の上ののぼり ②のちを眺める
14:27	①	そのままブランカを眺める
14:28	全	小屋内を右回りで歩きつづける
14:30	⑦	立ち止まり 奥を見る
14:31	⑦ → ④	小走りをした。 → 人がガラスをかきだした
14:32	④	エッ人はえになる。 → カマ目録 カマ目録 しほり処理には休まる
14:34	④ → ①	小走りをして木にのぼる
14:35	① → ④	小走りをして ④で立ち止まる。 → ガラス目録
14:37	④ → ③ → ⑥ → ① → ③	ガラス側を見ながら歩きつづける
14:38	④	座る。 → しほりの先端から覗きこむ
14:39	④ → ③ → ④ をくりかえす	歩きつづける
14:40	①	木におしりをつける → しほりはあき

14:41	① → ⑥	⑥の周りを一周する
14:42	⑧	木をつめをとく → ブランカが瞬間に立ち止まる
14:43	④	ブランクの尾をよむ
14:44	④	座る → 基本から目録
14:45	④ → ③ → ①	①で立ち止まり奥の方を見つめる
14:46	④	立ち止まりガラスの奥を見る → シオンがほえていた
14:47	全	右回りで歩きつづける
14:49	② → ④ → ③	くり返しながに歩きつづける
14:51	①	草をかむ
14:53	全	壁側を歩きつづける
14:54	① → ④	④でガラスの奥を見る → シオンがほえていた
14:55	①	草をかむ
14:56	⑥	木をのち → 足を入る → 木辺をとびこえる
14:57	⑦	立ち止まり周りをききこえを見る
14:58	⑦の奥 → ④	立ち止まり ④のほうを見る
14:59	①	草を見ながら右足をあげた状態で立ち止まる
15:00	全 → ①	歩きつづける → ①で立ち止まる
15:02	② → ④ → ③	くりかえす → 以前ほりおいてシート
15:03	④	ガラス側をみる
15:04	③	岩をかむ

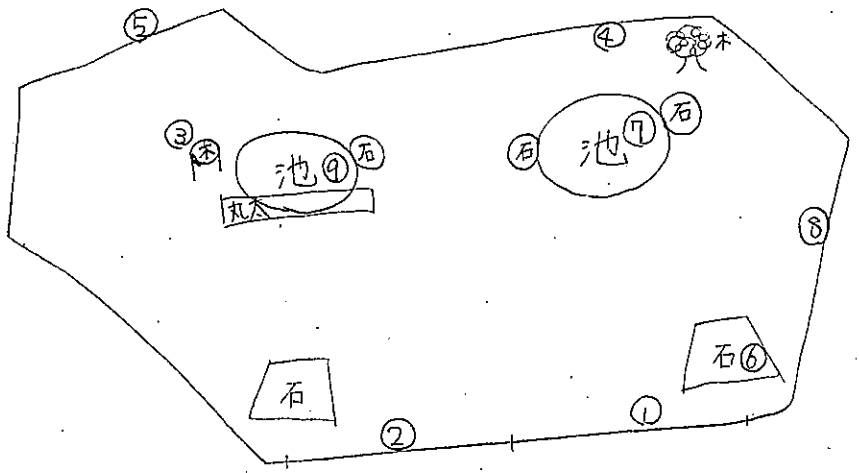
その他

- 5~10秒おきにまはる
- 足を外に向けて歩く → 〇〇
- ①付近に行くとまはるまわりの
- 歩くときは右まわりが多い
- 首をふるときを出す
- 歩くとき前足と後足を同時に出す
- ブランクとみまわりの何かをすることはほとんどなかった
- ブランクより動きが活発
- ブランクと比べて体の模様がい濃く、体格もからしりしている

和名: チーター 学名: Acinonyx jubatus

観察時間: 14:35 ~ 15:20 天気: 晴れ

個体の名前: ブランカ (コハク) 個体の性別: オス



- 14:37 ①で座る。↓を見つめる。しっぽの先10cm程度が10秒に1度上下する。また25秒に1度首を前に出す。
- 14:39 体が↓を向く。顔は↓を見つめる。しっぽは37分と同じ動き方。
- 14:40 ①→②→③→⑤まで壁に沿って移動し、⑤で↑を向き壁の匂いを嗅ぎ外を気にする。
- 14:41 ⑤→④→③→④→① 再び①で座る。↓を向きしっぽは20秒に1度小さく左右にゆれる。
- 14:42 ①で座ったままあくびをする。しっぽを大きく②に回す。
- 14:43 ①と②の中間の位置で↑向きに寝ころぶ。顔は↓を向くもう1頭のユハクにしっぽを踏まれ起き上がる。座ってしっぽが小さく左右に動いた。
- 14:44 両耳がぴくぴくする。まばたきはあまりせず。25秒に1度のペース。足元を気にして前足を10回程足ぶみする。
- 14:45 ①に戻り座る。↓を見つめる。呼吸するときお腹がふくらみへこみをくりかえす。
- 14:46 ライオンが吠え。↓を気にする。首を前に出す頻度が15秒に1度になる。
- 14:47 ユハクが①でブランカの前を通り首の匂いを嗅いで去っていく。
- 14:49 再び①で寝ころぶ。お腹が↓を向き顔は↓を見ている。左身を少し動かしながらしっぽを大きく②に回す。
- 14:50 ⑥の石を⑤回りに2周歩く。その後 ⑥→④→②→③→④→①→④→①→④→①

- 14:51 ①で立ち止まる。①→④→②→① 再び①で立ち止まる。①→④
- 14:52 ④の木の匂いを嗅ぐ
- 14:53 再び①に戻り立ち止まる。①→②→①
- 14:54 ①→④ 木を②回りに1周してから①に戻る。①→④→① 走って1周しもう1周する。②回り。
- 14:56 走ってきたバイクと飼育員に興味を持ち⑧で立ち止まり匂いを嗅ぐ。⑧→⑦の右の石に前足を乗せ止まる。⑦→①に戻り向かいから走ってきたしっぽの柄の車を見つめづける。
- 14:57 ①で↓を向き体制を低くし臨戦体制をする。前足に体重をかける。①と④を⑤回りで走りながら3周
- 14:58 ①で立ち止まり↓を向き座る。20秒に1度首を前に出す。30秒に1度左右をみる。
- 15:00 ①→⑦→②→③→① ①と④を⑤回りに2周歩き回る。
- 15:01 あくびをして舌を1度出す。①と②の間で立ち止まり後ろを見る。①→④を↑向きで歩く。④→③→⑤→①→④
- 15:03 ④で木の匂いを嗅ぎ壁→木の匂いを嗅いで木に前足をかけて嗅ぐ。
- 15:04 ①に戻り座る。↓向き。フラミンゴの鳴き声と子供が騒ぐと首を左右に動かす。
- 15:07 ①→④を②回りで2周し④の池の左で止まり④→①→④→①
- 15:08 ①→④で池を②周りをし①に戻る。
- 15:10 ⑦→④→③→①→④→④→③ ③の木に背を向けて⑤を見る。③→①→⑦の手前で↓を見つめる。
- 15:12 ⑦→①→②→① ②周りをし①で寝ころぶ。しっぽを⑤回りに3回大きく回す。
- 15:13 ①にユハクが来てユハクのしっぽが耳につき2匹がじゃれ合う。首をこすり合う。①で寝ころんでまま。
- 15:14 舌を1度出ししっぽを左右に大きく2回ぶる。
- 15:16 ①で起き上がり↓を見つめ座る。首を左右に2回ぶる。ユハクに①で体を嗅がれる。①→④→③→②→③ ⑤回りで歩く。
- 15:17 ③で木に登る。しっぽを大きめに左右にふりながら↓を見つめる。
- 15:18 20秒程登った後降りて⑤に行き木を見て立ち止まり壁の匂いを嗅ぐ。⑤→②で立ち止まり↓を見つめる。
- 15:19 ④の石を嗅ぎ④の壁に沿わせてしっぽを高く上げる。④→①に壁沿いを歩きながらあくびをする。

和名: マレーバク	学名: <i>Tapirus indicus</i>
観察時間: 14 : 10 ~ 14 : 55	天気: 晴れ
個体の名前: ダイアコロケン	個体の性別: オス

「個体の見分け方」

今回の実習中、マレーバクは5頭中2頭が展示されていた。この2頭には体の大きさに違いが見られ、今回観察したのは体の大きい方のマレーバクである。マレーバクの性別を見分ける際に、生殖器の有無以外にも体の大きさを判断することができ、一般的に体の大きいのがオス、オスよりも体の大きさが小さいのがメスと判断できる。よって、今回観察したマレーバクはオスということがいえる。夕摩動物公園にはオスのマレーバクは2頭あり、名前はダイアコロケンだ。しかし、どちらの個体かは見分けることはできなかった。

また、今回の観察対象ではないメスの個体も見分けることはできなかった。理由としては、見分けるために必要な特徴がどこにも書いておらず、特徴を知ることができなかったのが要因である。

「メスとの関わり」

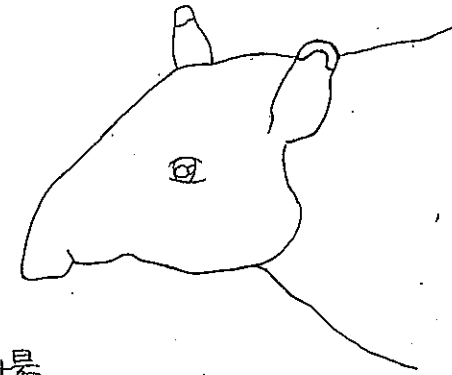
観察をしていると、高頻度でオスとメスの関わりが見られた。最初に見られたのは、14時19分でメスの方から壁に沿って座っているオスに近づいて顔をオスの胴体部分にくっつけていた。次に関わりが見られたのは最初の関わりが見られてから11分後の14時30分だった。その後、外への扉が開いて、オスとメスの両頭が外へ出た。外へ出てから8分後の14時41分にオスとメスが戯れ合い始めた。その後、オスとメスが少し離れたが、すぐにオスがメスに向かって走り出した。そして、オスとメス両頭はほぼ同時に水に入った。オスは水から出たり、その後すぐにまた水に入ったりを繰り返しつつも、水中でメスと戯れ合い続けた。10分ほどオスはこのような動きを繰り返していた。今回の観察内ではオスのメスに対しての特定の鳴き声や匂いを使ったアピールなどの求愛行動はなかったため、繁殖期とは無関係であるといえる。

「食性」

マレーバクは観察した45分間の中で、4回も食事をしていた。4回の食事のどれにおいても草や葉を食べていたので、食性は草食性であることが分かった。

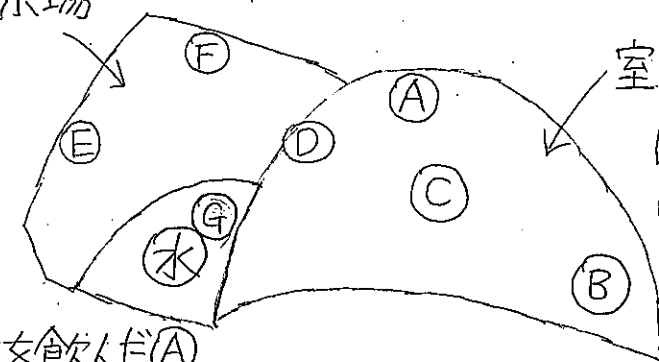
「マレーバクの特徴」

マレーバクの体の特徴は、体長は約1.8m~2.5m、体重は250kg~540kgでバクの仲間では最も大きいサイズである。月同の中央部は白く、前半部分と後半部分は黒色でツートンカラーをしている。水辺を好み、泳ぎが得意で、敵に襲われたときなどは水の中に逃げ込む。水中で排泄をすることで、自分の臭いを残さないようにしている。草食動物で、水中の水草や森林の植物、果実などを食べる。目がよく見えないため、鼻が発達していて、においや音に対しても敏感である。



屋外展示場

室内展示場



14:51 水から出た。その後すぐにもう一回入った。G  
14:53 水から出た。その後すぐにもう一回入った。G

- 14:12 水を飲んだA
- 14:14 壁に沿って座り始め、しばらく動かなくなかった。B
- 14:19 他の個体が壁に座っているオスに近づいて顔を胴体部分にくっつけている。B
- 14:23 Bから動き始めて置いてあったエサを食べ始めたC  
その後、水を飲んだA
- 14:26 エサを食べ始めたC
- 14:28 外へ出ようとする扉が閉められているため、外へ出れないD
- 14:30 他の個体がオスに近づいてきた。D
- 14:31 飼育員さんからホースで水をもらっていた。その後、水を飲んだD
- 14:33 さらにウチをした。D その後すぐにDの扉が開き、外へ出た。
- 14:34 外へ出て草を食べ始める。E 14:36 オシッコをした。
- 14:38 草を食べ始めるF 14:39 オシッコをした。

- 14:41 オスが他の個体と戯れ始める。
- 14:42 オスが他の個体に向かって走り始める。
- 14:43 水に足だけ入った。一回水から出た後、他の個体と一緒に頭まで水に浸った。G
- 14:45 水から出た。その後、すぐにもう一回水に入った。G
- 14:47 水中でオシッコをした。G 14:48 水から出た。その後すぐにもう一度水に入った。G
- 14:49 水中で他の個体と戯れ始める。G 14:50 他の個体の体の上に足をのける。G